

- 渋滞情報は、インターネットなど各種媒体を通じて提供しています。
- 出発前、走行中、休憩中など、いつでもどこからでも情報を入手していただけます。

(1) インターネット

- ◆『NEXCO東日本』の「ドラぷら」に最新の“道路交通情報”を掲載しています。

アドレス：<http://www.driveplaza.com/>

- ◆『ドライブトラフィック』携帯電話で、全国の高速道路の交通情報がチェックできます。

アドレス：<http://m.drivetrffic.jp/>

このサービスでは『ドラぷらモバイル』と一体的に高速道路料金やSA・PA情報を提供しています。これにより、走行ルートや交通情報を地図上でわかりやすくご覧になれますので、ぜひご活用下さい。

『ドライブトラフィック』QRコードはこちら⇒



<参 考>

- ◆『NEXCO東日本』の「渋滞予報カレンダー」では、日本全国の高速道路について、“5キロメートル以上の渋滞予測”を掲載しています。アドレス：<http://calendar.driveplaza.com/>

(2) 電話

- ◆『ハイウェイテレホン』にて最新の交通情報（5分更新）を24時間提供しています。

ハイウェイテレホン：電話番号

011-896-1620 (札幌)	0166-54-1620 (旭川)
0143-59-1620 (室蘭)	0155-42-1620 (帯広)

携帯電話からは『#8162』で最寄の高速道路のハイウェイテレホンを聞くことができます。

- ◆『日本道路交通情報センター』にて最新の交通情報を提供しています。

・電話番号：050-3369-6760

- ◆『NEXCO東日本お客さまセンター』にて24時間365日、高速道路に関する様々なお問合せにお答えします。

電話番号：0570-024-024（PHS・IP電話のお客さま：03-5338-7524）

(3) 走行中に入手できる道路交通情報

- ◆『道路情報板』
- ◆『ハイウェイラジオ（1620kHz）』
- ◆『VICS（VICS対応のカーナビゲーションなどで入手できます）』

(4) 休憩施設にて

- ◆『ハイウェイ情報ターミナル』により、分かりやすくお知らせします。

北海道内高速道路上での設置箇所

道央自動車道 砂川サービスエリア
道央自動車道 岩見沢サービスエリア
道央自動車道 輪厚パーキングエリア
道央自動車道 有珠山サービスエリア（函館方向のみ）

お客さまへのお願い

この時期は高速道路やサービスエリアなどは混雑すると予想されます。安全走行のためにお客さまに次のことをお願いしています。

① 後部座席でもシートベルトを着用しましょう

シートベルトは命綱、衝突時の身体への衝撃を和らげてくれます。後部座席も含め、全席シートベルトの着用をお願いします。

② 渋滞後尾での追突事故に注意してください

渋滞発生時には、渋滞の車列の中や渋滞の後尾での追突事故が発生しやすくなります。

渋滞に遭ったらハザードランプで後続車に合図するなど、追突事故の防止に心掛けてください。

③ ETCレーンは、時速20Km以下まで減速して進入、徐行して通行してください

ETCレーンでは車と十分な車間距離をとった上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してご通行ください。

④ 追越を終えたら走行車線へ

高速道路の追越車線は追越のための車線です。追越を終えたらすみやかに走行車線に戻り「キープレフト」を守りましょう。

⑤ 高速道路上は駐停車禁止です

高速道路上は危険防止や故障などの場合を除き駐停車禁止です。路肩、料金所広場に駐車すると、後続の車両から追突される危険性があります。休憩はSA・PAをご利用ください。

⑥ もし事故・故障が発生したら

高速道路上で、もし事故や故障が発生したら、できる限り路肩に停車し、ハザードランプをつけ、後続車に合図をしてください。停車後、発炎筒や三角停止表示板で更に合図をしましょう。

運転者も同乗者も通行車両に注意しながら車を降り、ガードレールの外など、安全な場所に避難してください。

また、近くの非常電話から事故や故障状況を通報してください。携帯電話からは「#9910」でも通報が可能です。いずれも、道路管制センターへつながり、情報板を点灯し、後続車へ注意を促します。

⑦ 高速道路での逆走にご注意を

高速道路での逆走は重大事故に直結するため、とても危険です。高速道路は指定方向にしか進めませんので、規制標識や行き先の案内標識を十分ご確認ください。

⑧ 出発前はタイヤ・積み荷の点検を忘れずに

北海道の高速道路上で最も多い故障原因はパンクです。タイヤのパンクが原因で事故に繋がるケースもあるため、出発前にタイヤの磨耗や空気圧の点検をお願いします。

積み荷の落下により他のお客さまに対し損害を与えた場合、落し主が責任を問われます。

出発前には必ず積み荷の点検をお願いします。

⑨ 給油やトイレはお早目に

出発前にガソリン量をチェックしましょう。給油やトイレは、渋滞区間の手前などなるべく早目にお済ませください。